

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位 19 単位
科目コード	科目名 パターンメーキング I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 三田 清美 共同担当者 : 岡田 彩加

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- 平面裁断・立体裁断(工業用ボディ使用)によるパターンメーキング理論を体系的に習得する。
- 量産を意識したアイテム・素材別の工業用パターンメーキングおよび縫製仕様、縫製法を習得する。
- 基本アイテムのグレーディング操作演習によりグレーディング理論の理解とパターン修正技術を習得する。

【授業計画】

パターンメーキング 論 I	通年 2 単位 (003010)
パターンメーキング演習 ドラフティング I	通年 4 単位 (003110)
パターンメーキング演習 ドレーピング I	通年 4 単位 (003210)
パターンメーキング演習 ソーイング I	通年 4 単位 (003310)
パターンメーキング演習 工業用パターン I	通年 4 単位 (003510)
グレーディング	通年 1 単位 (102400)

<パターンメーキング>

1. 工業用ボディとパターンメーキングの基礎 …6 コマ (前期)
パターンメーキングの基礎、工業用ボディについて
 2. ブラウス・スカート …46 コマ (前期)
パターンメーキング(平面裁断・立体裁断)、フルパターン、部分縫い、縫製工程・縫製仕様、実物製作、レポート
 3. スーツ …62 コマ(前期・後期)
パターンメーキング(平面裁断・立体裁断)、フルパターン、部分縫い、縫製工程・縫製仕様、指図書、作業標準書、実物製作、レポート
 4. バザー作品…15 コマ (後期)
グループ製作、企画、サンプル縫製、生産
 5. 修了制作・発表会 …78 (制作) +31 コマ (発表会演出・企業研究) (後期)
デザイン、パターンメーキング、フルパターン、部分縫い、縫製仕様・縫製工程、実物製作 レポート
発表会企画・演出
 6. ドレーピング 39 コマ (前期・後期)
原型・タイトスカート・セミタイトスカート・フレアスカート
セットインスリーブのブラウス(シャツカラー・スタンドカラー・フラットカラー)
ジャケット(パネルラインジャケット・プリンセスラインジャケット)
- <グレーディング> …14 コマ (前期・後期)
・身頃原型 ・スカート(タイト・A ライン・ベルト)
・ブラウス(身頃・袖・スタンドカラー・シャツカラー・フラットカラー)

【評価方法】

- パターンメーキング論 I : S~C・F評価 / 学業評価100%
- パターンメーキング演習 : S~C・F評価 / 学業評価=80%、授業姿勢 20%
- グレーディング : S~C・F評価 / 学業評価=提出物 100%

主要教材図書

文化ファッショングループ⑤工業用パターンメーキング、服飾関連専門講座⑦アパレル生産管理
服飾造形講座⑤コート・ケープ
服飾造形講座⑥服飾造形応用編 I (高級素材)、アパレル生産講座⑦グレーディング 実物標本・段階標本・プリント

参考図書 なし

その他資料 実物標本・段階標本・プリント

授業の特徴と担当教員紹介

- ・量産を意識し工業用ボディを使用し制作する。素材別の工業用パターンメーキングおよび縫製仕様、縫製法を習得する。

記載者氏名 三田 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科2年	単位	2単位
科目コード	科目名	CAD パターンメーキング	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮澤 国博 共同担当者：

概要

基本的なアパレル CAD オペレーションをマスターすることを目標とする。

囲み作図を CAD で作成し、基本的な線の引き方を身につける。個人の作図をスキヤナで入力し、入力したデータを基に CAD で基本的なパターン修正、縫い代付け、パーツ情報を設定し工業用パターンの作成方法を身につける。

使用CAD：東レACS株式会社 CREACOMPO II

I. オリエンテーション (1コマ)

- ① アパレル CAD を使用したデータ経路の説明
- ② パターンマジックの基本操作

II. 囲み作図 (4コマ)

- ① タイツスカート作図
- ② パンツ作図

III. 原型作成 (1コマ)

- ① 各自の補正原型をデータ化する

IV. シャツパターン作成 (7コマ)

- ① 各自のデザインによるシャツの作図を行う
- ② パターンチェックから縫い代付けまでのプロセスを身につける
- ③ 細かな付属パーツを作成する

V. ジャケットパターン入力 (11コマ)

- ① パターン入力方法
- ② 各自のパターンを入力する
- ③ 入力パターンの修正、調整方法を身につける

VI. デザインに応じた CAD 操作 (1コマ)

- ① プリーツ展開
- ② ギャザースリーブ
- ③ ピンタック

VII. マーキング (1コマ)

- ① マーキングの手順とオペレーションを身につける

VIII. まとめ (1コマ)

- ① 今後のアパレル CAD の環境変化について
- ② CAD に関する3年生への取り組みについて

評価方法・対象・比重

評価方法：授業内試験、提出物（シャツ・ジャケットデータ）

評価比重：試験7割、提出物3割

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD の基本操作を習得する。
文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科2年	単位	1単位
科目コード	科目名	3DCAD	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

PatternMagic II の基本操作を理解し、オリジナルの着せ付けや、デジタルツールの見方、修正を身に着ける。
Clo Enterprise の操作方法の基礎を理解し、各仕様に合わせた設定方法や、3DCG として出力する際の調整方法を身に着ける。

【授業計画】

使用ソフト：東レ ACS 株式会社 CREACOMPO II

Clo Enterprise

adobe (Illustrator)

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 授業内容の説明

II. PatternMagic II 3D (4コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
シャツ、スカート、パンツ、セットアップの着せ付け
- ③ 着せ付け後の機能
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け

III. Clo Enterprise (10コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
- ③ デザイン、仕様に合わせた設定
シャツ、パンツ、プリントTシャツ、ファスナーアイテム、プリーツ・タックデザインの着せ付け
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け
- ⑥ レンダリング設定と出力
レンダリングの基本設定、背景の設定、照明の追加と設定

【評価方法】

各回のデータ+平常点30%

オリジナル作品70%

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD に関するソフトウェアの使用方法と 3DCAD データ作成の基礎を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科2年	単位	1単位
科目コード	科目名	アパレル生産管理	授業期間	前期

担当教員(代表) : 井戸川 優也

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の生産プロセスの基礎知識を理解する。Q(品質) C(原価) D(納期) のバランスを考慮し、個人制作的な考え方から、既製品製造における仕様や生産工程、設備、システム、情報の伝達方法を知り、アパレル生産関連業務に関わる基礎的な知識を身につけることを目標とする。

【授業計画】

I. オリエンテーション、アパレル生産の概論 (1コマ)

- ① 授業の目的
- ② アパレル生産の概論
- ③ アパレル生産の概要

II. 断面図作成 (1コマ)

- ① 縫製仕様書に求められる断面図の描き方を理解する
- ② 各種仕様の断面図作成実習

III. 縫製仕様書 (1コマ)

- ① 縫製仕様書の記入方法 (ブラウスの縫製仕様書作成)
- ② 資材、仕様の知識

IV. 加工裁断芯貼指図書 (1コマ)

- ① 加工・裁断・芯貼り指図書の記入方法 (ブラウスの加工・裁断・芯貼り指図書作成)
- ② 芯貼りや裁断の条件における知識
- ③ 各種書類作成の実習

V. 工程分析表 (2コマ)

- ① 工程の理解
- ② 工程分析表の記入方法
- ③ シャツ工程分析表作成

VI. 作業標準書 (1コマ)

- ① 作業標準書の記入方法
- ② 作業標準書作成実習

VII. 品質のつくり込み (2コマ)

- ① 標準化を目的とした着眼点
- ② 作業標準書の記入方法

VIII. 製造原価 (1コマ)

- ① 原価の基礎知識
- ② 原価計算

IX. 試験範囲 (1コマ)

- ① 試験範囲と復習

【評価方法】

・S~C・F評価 ・筆記試験50% ・提出物(各書類) 40% ・出欠席・授業への取り組み10%

主要教材図書

- ・文化ファッショングラフィック大系⑦アパレル生産管理
- ・工業用ミシンアイロンの基本操作と知識

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル産業の生産プロセスと工業生産を理解することができる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者氏名 井戸川 優也

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2 科目コード 1005710	科名 アパレル技術科 2年 科目名 量産技術実習 I	単位 2単位
担当教員(代表) : 成田 邦子	共同担当者 : 加藤 紀人、井戸川 倫也、宋 昇和	授業期間 後期集中

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シャツの製造実習（一人が全行程を賄う“丸縫い作業”）を通して、シャツ生産指示書（仕様書、指図書、工程分析表、作業標準書）の役割（生産時間の短縮や品質の均一化や作業者の安全 等）について理解を深める事を目標とする。また、アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解を深める。デザイン発想からパターン作成、ライン縫製、品質検査までを行い、量産をグループワークで実習する。品質 (Q) ・ 原価 (C) ・ 納期 (D) の観点から体系的にアパレル生産を学び、生産活動の基礎知識の習得が目標である。

【授業計画】

- I. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習と縫製機器（ミシン）基本操作 (1コマ)
①延反 ②自動裁断機（CAM）による裁断
③シャツの芯貼り、表裏識別シール貼り、個人仕分け
④工業用ミシンの基本操作
- II. 基礎練習・・・縫製機器（ミシン・アイロン）の基本操作と縫製準備 (1コマ)
①基礎練習（工業用本縫いミシン、縫かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード）
②部分縫い（直線・曲線縫い、短冊あき）
- III. シャツ縫製 (8コマ)
①部品工程（身頃づくり、衿づくり、袖づくり 等）
②組立て工程（衿付け、袖付け 等）
③特殊ミシン（眠り穴かがりミシン、オートフィーダー付きボタンつけミシン）
- IV. 量産 サンプルメーキング準備 (1コマ)
①資材・副資材の選定 ②生産指示書作成
- V. サンプルメーキング (7コマ)
①サンプル縫製 ②生産指示書作成 ③サンプルチェック（外観検査・品質検査・規格寸法の確認）
④パターン・生産指示書類の修正
- VI. 裁断・芯貼り・ミーティング (1コマ)
- VII. 本生産 (8コマ)
- VIII. 検品 (1コマ)

【評価方法】

出席状況 (50%) + グループワークの貢献度・シャツの出来栄え (50%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント配布、生産指示書類

授業の特徴

工業生産に必要な様々な機器を用いて、ものづくりに「しくみ」や「段取り」といった考え方がいかに大切であるか実体験を通じて理解する。

担当教員紹介

文化服装学院 専任教授／文化服装学院 専任講師／文化服装学院 助手

記載者氏名 成田 邦子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12302	科名	アパレル技術科 2 年	単位	1 単位
科目コード	40420	科目名	服装解剖学Ⅱ	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表) : 高見澤ふみ	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次で学んだ服装解剖学の基礎を発展させ、筋の構造を解剖学的に理解させる。さらに動態計測（石膏計測）により、衣服製作に必要な皮膚の運動量・変化を把握させ、機能性大の衣服設計の理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容の説明）	講義	1
人体の運動と筋（筋の種類・分類）	講義	1
人体の運動と筋（頸部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（胸部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（背部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（腹部の筋）	講義	1
人体の運動計測①（石膏計測法の説明）	講義・演習	1
人体の運動計測②	演習	1
石膏計測実習①（上挙・下垂の体表変化）	グループ演習	1
石膏計測実習②（上挙・下垂の体表変化）	グループ演習	1
機能性大の衣服について①	演習	1
機能性大の衣服について②	講義	1
体型の経年変化と各種ボディについて	講義	1

【評価方法】

学業評価 : レポート…40%、ノート・プリント…30%、平常点…10% 授業姿勢 : 出欠状況…20%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴 : 衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介 : 文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務

衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011 年より障がい者衣料の研究を継続。NHK E テレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。(2015~17 年)

記載者氏名 高見澤ふみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位	2単位
科目コード	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 菅野めぐみ	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに講義・演習・実験を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高い制作をはじめ、パターンをつくる力や取扱い等を含めた素材知識を身につける事目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論(講義) 1コマ

アパレル素材論Ⅱとは、1年次で学んだ基礎知識の復習(各繊維性能、糸、組織等について)

2. 布地の構成(講義、演習、実習) 6コマ

織編組織について、布地の構成と規格

織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ、先染め後染め、スクリーンプリント実習、ミニテスト

3. 風合い(講義、演習) 3コマ

各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック(繊維、糸、布地、加工の観点から探る)

風合い別分類マップ制作

4. テキスタイル産地(講義、演習) 1コマ

海外を含めた素材の展示会、日本において各産地の特色、サステイナブルな取り組みについて

5. 布地の物性実験(講義、実習) 5コマ

サンプリング、各機器を使用した物性実験、考察

6. 熱可塑性を利用したプリーツ制作(講義、実習) 5コマ

プリーツの保持性実験及び、プリーツ作品制作

7. フェルト性実験(実験) 1コマ

各毛織物における収縮率の違い、フェルト化の認識

8. 染色整理仕上げ(講義、演習、実習) 3コマ

整理仕上げについて 各種仕上げ別分類

オパール加工実習

9. 総論(講義) 1コマ

アパレル素材論Ⅱ総論

【評価方法】

S~C・F評価(学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッショングリーン大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブックアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験、演習や実習を行いながら素材知識を深める授業です。 文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 コンピューターワーク (A)	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 高橋 翼

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で必須のデザイン系ソフト Adobe Illustrator を使用し精密な製品図の作成、企画段階での資料構成の習得を目指す。デザイン表現によるアウトプット、プレゼンにおける表現力の向上を目的とする。

【授業計画】

● 使用ソフト

- Adobe Illustrator

● 指導内容

- 基本操作 Illustratorの習得
- Tシャツの作成 Illustratorの習得
- ランニングの作成 : Illustratorの習得
- ワイシャツの作成 : Illustratorの習得
- 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成

● 提出課題

- 製品図描画テスト
- 既製品の製品図描画

【評価方法】

評価基準 : 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位 1単位
科目コード	科目名 コンピューターワーク (B)	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 高橋 翼

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で用いるグラフィック系ソフトの Adobe Photoshop、オフィス系の Excel、Word を使用し企画段階での資料構成の習得を目指す。

【授業計画】

● 使用ソフト

- Adobe Photoshop
- Microsoft Word、Excel

● 指導内容

- Photoshop
レタッチの基本
レタッチの応用
コレクションマップの作成
- Excel
基本操作
計算式の基本
テスト
- Word
文章作成の基本

● 提出課題

- Photoshopコレクションマップ
- Excelテスト
- Word課題
- 総合課題

【評価方法】

評価基準 : 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サスティナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位	1 単位
科目コード	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表)： 小林章子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- 就職活動の流れや活動するための必要な知識を得る。
- 学生が志望する先に内定するために必要な力を身に付ける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
・就職活動の流れとインターンシップの重要性	講義	1
・企業研究	講義・ワーク	2
・第一印象と相互理解	講義・ワーク	1
・自己分析	講義・ワーク	2
・長所・自己PR	講義・ワーク	1
・学生時代に力を入れたこと	講義・ワーク	1
・志望動機	講義・ワーク	1
・履歴書作成	講義・ワーク	2
・就職活動のマナー	講義・ワーク	1
・面接対策	講義・ロールプレイング	2

【評価方法】

S～C～F評価 評価基準 学業評価50%：提出物、履歴書、模擬面接、
授業姿勢50%：出席状況、授業に対する参加度による総合評価

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での採用・教育の業務経験をもとに、就職活動の流れや活動するための必要な知識、自己分析、企業研究、心構えなどをワークやディスカッションを交えながら指導。

記載者氏名 小林章子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位	2 単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三田 清美

共同担当者 : 岡田 彩加

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う。
- ・生産技術の専門性を高める。
- ・業界や職務に関する理解を深め、就職への意識を高める。

【授業計画】

1. アパレル企業における接着芯地（技術指導）1コマ（前期）
2. 生産技術（企業における縫製テクニック）10コマ（前期）
3. トレンド解説（コレクショントレンド解説 1コマ（後期）
4. デジタルプリント（デジタルプリント室使用方法）1コマ（後期）
5. パタンナー・生産管理者の役割（就職にむけて、各職種の役割について）1コマ（前期）
6. 業界研究（アパレル企業における職種の役割）1コマ（後期）
7. ポートフォリオ講座（ポートフォリオ作成）1コマ（前期）
8. 帽子の一般知識（帽子制作） 8コマ（後期）
9. アパレル企業におけるパターンメーカーの業務（パターン技術と知識）4コマ（後期）
10. ファッションデザイン画（製品図の書き方）2コマ（前期）

【評価方法】

履修認定 (P表示)

評価基準 : 出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント等

授業の特徴と担当教員紹介

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う

記載者氏名 三田 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位 1 単位
科目コード 930020	科目名 校外研修 II	授業期間 後期（集中）

担当教員（代表）：三田 清美

共同担当者：岡田 彩加

概要

- ・国内の工場、メーカーの見学を通し、生産の現状、物づくりに対する姿勢、品質向上の取り組みなどについて理解を深める。
- ・美術鑑賞や能見学を通し、感性を磨き視野を広げる。

【授業計画】

1、研修旅行 13コマ（後期）

縫製工場見学（北陸）

美術館

11月13日～11月15日（2泊3日）

研修旅行レポートを作成する

2、能見学 2コマ（後期）

【評価方法】

履修認定（P表示）：出欠状況

評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント

授業の特徴と担当教員紹介

- ・企業訪問を通してアパレル企業の職種の理解を深め、見聞を広げる。

記載者氏名 三田 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位	2 単位
科目コード	科目名 企業研修・学内研修	授業期間	後期（集中）
担当教員（代表）：三田 清美		共同担当者： 岡田 彩加	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・企業研修ではファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行い、職業人として役立つ人材の育成と就職に向けての意識を高める。
- ・企業研修に参加しない学生は学内研修を行い、ビジネス常識と専門分野の実務について学ぶ。

【授業計画】

企業研修・・・企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。

（2週間）

学内研修・・・ビジネス常識と専門分野での実務について学ぶ。

研修期間中は業務日誌等を作成記録し資料としてまとめる。

終了後に研修報告会を行い、レポートを作成する。

【評価方法】

履修認定（P表示）

評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 前年度レポート

授業の特徴と担当教員紹介

- ・ファッショング産業界の技術職の職業体験を行い、職業人として役立つ人材の育成と就職に向けての意識を高める。

記載者氏名 三田 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE2	科名 アパレル技術科 2年	単位	1 単位
科目コード 947200	科目名 コラボレーションb (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三田 清美

共同担当者 : 岡田 彩加

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- 外部団体・企業等とのコラボレーション活動にグループで参加し、知識、技術の向上とともに社会人としてのキャリアアップを図る。
- 協業することで学生は自己の可能性を発見し、業務の進め方、プレゼンテーション方法を学び、視野を広げる手立てとする。

【授業計画】

科の特色や学生の知識・技術を鑑み、教育効果のあるコラボレーション企画に参加する。1単位

【評価方法】

履修認定 (P表示)

評価基準 : 出欠状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 三田 清美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3 科目コード 003020 003120 003220 003320 003520	科名 アパレル技術科 3年 科目名 パターンメーキング II	単位 18単位 授業期間 (通年)
--	-----------------------------------	----------------------

担当教員(代表) : 菅井 正子 共同担当者 : 山本 貴代

【授業概要、到達目標・レベル設定】

平面裁断・立体裁断によるパターンメーキングや工業パターンメーキング理論を理解し応用発展できる能力を養う。
1・2年で習得した知識と技術を応用発展させ、機能服やニット作品、皮革作品などの細目から素材の特性を生かし、かつ生産効率を考え市場を意識した仕様・縫製方法を学ぶ。

【授業計画】

パターンメーキング論 II (003020)	通年 2単位	(前期 1単位 後期 1単位)
パターンメーキング演習 ドラフティング II (003120)	通年 4単位	(前期 2単位 後期 2単位)
パターンメーキング演習 ドレーピング II (003220)	通年 5単位	(前期 2単位 後期 3単位)
パターンメーキング演習 ソーイング II (003320)	通年 4単位	(前期 2単位 後期 2単位)
パターンメーキング演習 工業パターン II (003520)	通年 3単位	(前期 1単位 後期 2単位)
 スローパー	12コマ (前期) 各種原型解説及び作成 (パンツスローパー、ブランド原 型)・裏付パンツ前あき部分縫い	
バザー作品(コート)	33コマ (前期 18コマ、後期 15コマ) バザー作品ドラフィティング・ コートドラフティング・2種ドレーピング・無飾リアウトポケット 部分縫い	
機能服	11コマ (前期) マチドラフティング・ニットドレーピング	
カジュアルウェア	52コマ (前期) ジャケットドレーピング・カジュアルウェアドラフティ ング・工業パターン・実物製作・逆玉縁ポケット部分縫い・衿袖ぐり 続き見返し、突合せファスナー部分縫い・ファスナー比翼あき部分 縫い・レポート	
ニットファブリック	13コマ (前期) ニット作品ドラフティング・工業パターン・実物製作・レポ ート (前期まとめ)	
ドレープ・フリル・カスケード 皮革作品	10コマ (後期) ドレープドレーピング・フリル、カスケードドラフティング 36コマ (後期) 皮革作品ドラフティング・工業パターン・実物製作・レポ ート	
トワリスト・モードコピー	35コマ (後期) どちらかを選択し実物同様の作品製作	
ショー準備	27コマ (後期) アクセサリー製作・レポート・歩行練習・ショー本番	
その他	23コマ (後期) 各自補足作業	

【評価方法】

パターンメーキング論 II S~C・F評価/学業評価 100%
パターンメーキング演習 II S~C・F評価/学業評価 80%/授業姿勢 20%

主要教材図書	文化ファッショングラフィック大系	アパレル生産講座⑤ 工業パターンメーキング
	服飾造形講座⑤ コート	⑥服飾造形応用編 I (高級素材) ⑦服飾造形応用編 II (特殊素材)
参考図書	なし	
その他資料	プリント、参考標本、段階標本	

授業の特徴と担当教員紹介

平面裁断・立体裁断によるパターンメーキングや工業パターンメーキング理論を理解し、各種素材、各種アイテムに対応できる技術を身につける。パターンナーとして即戦力となりうる人材育成をする。
服飾造形専任教授 ファッション教育振興協会パターンメーキング検定委員 東京都技能検定（婦人子供服製造/婦人子供既製服縫製）中央技能検定委員・検定委員（菅井）文化服装学院研究企画委員会委員長（山本）

記載者氏名 菅井 正子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 アパレル技術科3年	単位	1 単位
科目コード	科目名 デザインパターン	授業期間	5/24-6/25

担当教員(代表) : 青砥 厚二 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

DESIGN PATTERN VOL. 6 SHIRT DESIGN デザイナートパターンナーの仕事に近い形でトレーニングする授業。デザイン解釈～フルパターンの実戦に近いパターンナーの仕事を実習。デザイナーが要求するデザインを実現させるため、個々と対話しながら良いパターン、パターンナーとは何か考察、考える力を習得することを目指し、パターンがデザインにおいていかに重要な役割かを理解する。デザイン1、2と反復練習することで技術の向上を目指す。弊社ブランドの実際に使っているパターンも公開する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザイナー自己紹介、授業の内容と流れと目的	講義	1			
「パターン設計1」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成1」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワル作成1とパターン修正1」仮縫い	演習	2			
「講評会1」	演習	1			
「パターン設計2」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成2」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワル作成1とパターン修正2」仮縫い	演習	2			
「講評会2」	演習	1			

【評価方法】

デザイン解釈評価30% パターン技術評価60% 書類記述評価10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 デザイナーとパターンナーの仕事に近い形での課題を実施し、パターン技術向上を目指した講義内容です。英国留学、テキスタイルメーカー、コレクションブランドで経験を積んだ株式会社ユーストン代表兼ウィメンズブランドデザイナーの青砥が担当します。

記載者氏名 青砥 厚二

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科 3年	単位	3単位
科目コード	科目名	CAD パターンメーキング II	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮澤 国博 共同担当者：

概要

CAD パターンメーキング I の基本的な操作方法を基に、パターンナーとして効率的に工業用パターンを作成するスキルや、応用的な操作方法、グレーディングの基本操作を習得する。

使用CAD：東レACS株式会社 CREACOMPO II

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 効率的な CAD 操作

II. バザーコート (17コマ)

- ① コート作図
- ② コート工業用パターン作成
- ③ コートマーキング
- ④ 帳票類の作成

III. ジャケット (8コマ)

- ① ジャケット作図
- ② ジャケット工業用パターン作成
- ③ ジャケットマーキング

IV. 様々な仕様におけるパターン作成 (3コマ)

- ① ジャケット、コート以外の仕様に対するパターン作成

V. グレーディング (6コマ)

- ① 切開式グレーディング
- ② CAD グレーディングの基礎
- ③ スカートのグレーディング
- ④ 原型のグレーディング
- ⑤ シャツのグレーディング
- ⑥ パンツのグレーディング
- ⑦ ジャケットのグレーディング

VI. 試験対策 (4コマ)

- ① 前期試験対策
- ② 後期試験対策

評価方法・対象・比重

評価方法：授業内試験、提出物（コート・ジャケットデータ）

評価比重：試験7割、提出物3割

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD の基本操作を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科 3年	単位	1単位
科目コード	科目名	3DCAD	授業期間	前期

担当教員(代表) : 宮澤 国博	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

PatternMagic II の基本操作を理解し、オリジナルの着せ付けや、デジタルツールの見方、修正を身に着ける。
Clo Enterprise の操作方法の基礎を理解し、各仕様に合わせた設定方法や、3DCG として出力する際の調整方法を身に着ける。

【授業計画】

使用ソフト : 東レ ACS 株式会社 CREACOMPO II

Clo Enterprise

adobe (Illustrator)

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 授業内容の説明

II. PatternMagic II 3D (4コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
シャツ、スカート、パンツ、セットアップの着せ付け
- ③ 着せ付け後の機能
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け

III. Clo Enterprise (10コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
- ③ デザイン、仕様に合わせた設定
シャツ、パンツ、プリントTシャツ、ファスナーアイテム、プリーツ・タックデザインの着せ付け
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け
- ⑥ レンダリング設定と出力
レンダリングの基本設定、背景の設定、照明の追加と設定

【評価方法】

各回のデータ+平常点30%

オリジナル作品70%

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD に関するソフトウェアの使用方法と 3DCAD データ作成の基礎を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科 3年	単位	2単位
科目コード 005720	科目名 量産技術実習Ⅱ	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：加藤 紀人

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

量産体制のグループでの実習を通し、アパレルにおける組織的な生産のプロセスと、分業による効率的な作業について理解を深めることを目標とする。

メーカー側の製品企画・工場側の製造企画に始まり、重衣料の生産活動を通して「モノ」「情報」の流れを掴み、所定の品質を実現するための手法や、原価、納期までに完成させるための計画について考える。

【授業計画】

＜実習製作物 … ウール コート＞

I. 導入、サンプル準備 … (2)

- ①実習の内容・目的の説明
- ②作成する帳票類、ゲージの説明
- ③班毎に役割分担

II. サンプル裁断 … (1)

- ①先上げサンプル作成のための裁断
- ②芯貼り
- ③ゲージ作成

III. サンプル縫製 … (6)

- ①サンプル縫製を通じ、仕様、工程を確認
- ②作業標準書作成

IV. 生産指示書作成 … (1)

- ①作業標準書作成、各種書類清書
- ②ゲージ作成

V. 裁断・芯貼り、ミーティング … (2)

VI. 本生産 ※分業による … (16)

VII. 検品、反省会 … (1)

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 30%、 授業姿勢 70%

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 帳票サンプル

授業の特徴と担当教員紹介

工業用の機器を使用し、均一な品質のコートを生産する。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード		科名		単位	単位	
科目コード		科目名		授業時間		

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・カットソーの基礎知識、ニットアパレルを理解するために必要な商品知識の習得
- ・カットソー素材の服作りにおけるミシン類の基礎知識、技術の習得
- ・カットソー素材のパターン作成、指示書作成までを理解する

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
カットソー概論	講義	1			
カットソーの縫製	演習	3			
カットソーの縫製	演習	3			
カットソーパターン	講義	2			
ニットファブリック	演習	6			

【評価方法】

英字

レポート(ファイル)の提出、Tシャツ縫製、出席率

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現職のカットソー工場のパタンナーですので、現場の作業、現場の声を活かした授業を行います。

記載者氏名：

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	KE3	科名	アパレル技術科3年	単位	1 単位	
科目コード	46300	科目名	縫製研究	授業時間	(前期)	
担当教員	岩井 一仁					

【授業概要、到達目標・レベル設定】

「ジャケット」シングル二つ釦ノッチドラペルの縫製を1950年代からのTailor & Dressmakingの事実及び技術を研究また実習し、そこから新しい知識や見解を得て、それを現在主流の量産品の縫製に融合させ、高品質化を図れる有益な能力を取得することを目指す。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
パターンの設計、仕様、造形の説明		1			
裁断		1			
毛芯の設計、説明		1			
裁断		1			
身頃の縫製		2			
芯据え		1			
身返し縫製		1			
脇入れ		1			
肩入れ		1			
衿作り		1			
衿付け		1			
袖作り、袖付け		1			
仕上げ、ポケットの種類の説明～実習		1			
質疑応答、評価など		1			

【評価方法】評価S～C・F評価

・評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業でのパターン作製、仕様書作成業務、生産管理、品質管理、工場指導などの経験を活かし、高品質な量産ジャケットの縫製や仕立てについて指導する。

記載者氏名：岩井一仁

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科3年	単位 1
科目コード 46310	科目名 企画・デザイン研究（選択）	授業期間 前期

担当教員（代表）：神場 教彰	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など 講義外課題および作業が出ないようにする。 就職活動に有利な即戦力を意識した内容。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
1. 主張性のあるマップ作成 ／1講義・2実習 ：デザインイメージを具体化し、転換・展開する マップやレジメの作成をする。
2. 商品力のあるデザイン（商品）展開 ／1講義・2実習・1合評 ：市場調査から売れ筋商品を把握し、自社の商品展開に生かす。 スピーディーな商品企画・展開を考える。
3. グループ製作 ／1講義・6実習・1発表・1合評 ：仮想ブランドを設定し、デザインの方向性・商品化の可能性を探る。 ：コンセプト・テーマ・商品構成・価格・店舗・など総合的に研究する。 ：発表を通じ提案力を身につける。

評価方法・対象・比重 出欠状況：60% 課題提出：40%

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科 3年	単位 1単位
科目コード KE3A404200	科目名 工場生産研究	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 吉田 浩	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 縫製工場におけるジャケットの生産方法を講義、実演、実習。 ジャケットを製作し完成させる。また、最終提出の際に製品仕様書まで作成して一緒に提出。 最終日にパリコレクションブランドのデザイナーの講演。

【授業計画】

2024前期工場生産研究講習日程

1コマ	座学	自己紹介、業界の現状に至るまで 作品説明 サルバムSQシリーズアレンジ	4月11日
2コマ			4月11日
3コマ	生産管理	伸び止の貼り付け、前身頃返り線折、表地ロック（後・後脇身頃）	4月25日
4コマ		裏地作り（身頃・ダーツ・袖）、見返しと裏地ハギ後コバステッチ	4月25日
5コマ	生産管理	表身頃ダーツ縫い片倒し・切替ハギ割り、袖ハギ割り	5月9日
6コマ		表身頃裾とスリット部分ステッチ、表袖口ステッチ、裏内袖部分ステッチ	5月9日
7コマ	生産管理	ポケット上部ステッチ、ポケット付けステッチ、肩ハギ割り、	5月23日
8コマ		袖山ぐし・ぐしアイロン、衿腰縫い・割りステッチ、地衿腰ステッチ、衿作り	5月23日
9コマ	生産管理	工場見学 10:00～裁断・縫製部見学	6月6日
10コマ		工場見学 10:40～製品についての質疑応答座学	6月6日
11コマ	生産管理	袖付け、桁綿・山布付け、袖ぐりアイロン、山布割りアイロン	6月27日
12コマ	(+1名)	前端大縫/返しアイロン、衿付け/アイロン	6月27日
13コマ	生産管理	肩パットつけ、中とじ、印付け、裏袖口カット仕上げ	7月4日
14コマ		仕様書作成 予備、調整	7月4日
15コマ	座学	ゲスト 桑原サルバム藤田哲平	7月4日

* 6月6日工場見学は、制作作業が予定より遅れているようなら中止します



伸び止位置ST 前端、ラベル端前後身頃ぐり、前肩、袖ぐり、前身頃返り線

工場見学先 株式会社福新ドレス

【評価方法】	ジャケットと製品仕様書の完成具合、詳細な仕様や出来ばえ
出席状況	50% 作品 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料	実演と実習に使用するジャケットの生地附属一式
-------	------------------------

授業の特徴と担当教員紹介	実際に2022AWパリコレクションで紹介されたジャケットのアレンジバージョンを製作します。
(株)福新ドレス 吉田浩 (株)サルバム 藤田哲平	

記載者氏名	吉田 浩
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科3年	単位	1単位
科目コード 102200	科目名 工業ニット演習	授業期間	後期

担当教員(代表) : 下村 みち代

共同担当者 :

概要

ニット製品の製作工程や編立技術などを総合的に学び、アパレルの中のニットを理解できる人材を育成する。ニットに使用される素材・編地・縫製技術を商品解説と共に実習を通じて理解を深める。

【授業計画】			
回数	内 容	方法	コマ
1	ニットアパレルの分野 ニットの基礎 棒針編みの基礎①	講義・演習	2
2	ニット素材・ファンシーヤーンの製品への展開 棒針編みの基礎②	講義・演習	2
3	ニットの編み組織と柄模様 棒針編みの基礎③	講義・演習	2
4	家庭用手編み機 基本組織柄の編み方 パンチカードによるシングルジャカード	講義・演習	2
5	ニット製品の縫製と付属編み 裾・裾のバリエーション かぎ針編みの基礎①	講義・演習	2
6	ニットの仕様書について かぎ針編みの基礎②	演習	2
7	ニットの仕様書まとめ ニットの原価計算法について 工業ニット演習ファイル提出	講義・演習	2

評価方法・対象・比重

提出物…80% 授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書 アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術 ⑮工業ニット

授業の特徴と担当教員紹介

ニット製品をハンドニットから工業ニットまで総合的に学ぶ。講義だけでなく、ハンドニットの技術、家庭用手編み機の編地制作や工業機である手横やリンキングなどニット生産における実際の機械を使用し理解を深める。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 下村 みち代

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	KE3	科名	アパレル技術科	単位	単位	
科目コード		科目名	生産各論品質管理	授業時間	14コマ	
【授業概要、到達目標・レベル設定】 広義の品質管理から、小売業で実際に行っている品質管理を学び、繊維業界に就職後、役立つスキルを身につける						
【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先						
テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数	
品質管理とは	講義	1				
繊維の基礎知識	講義	2				
品質基準について	講義	2				
表示の基礎知識	講義	5				
規制されている有害物質	講義	1				
子供服のJIS	講義	1				
工場のチェックポイント	講義	1				
苦情事例	講義	1				

【評価方法】出席状況、中間試験、学年末試験

主要教材図書 講師作成のスライド

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 (株)ビームスにて2010年より品質管理実務を行い、各種基準や調達ルールを策定。授業は主に実際の実務を基に進行。

記載者氏名：坂田 侯晋

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科 3年	単位 (1単位)
科目コード	科目名 生産管理各論 生産・製造企画	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 加藤紀人	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品を生産する上で必要となる業務について、製造の機能と方法、メーカーにおける生産関連担当者の職域を中心に学ぶ。

商品企画段階で設定される、品質 (Q)・原価 (C)・納期 (D) を高水準で成立させることを目標に、製造に必要な機能と製造方法、管理方法を概念的に理解するとともに、生産実務に至る準備段階から事後処理までを体系的に理解する。グローバル化に伴う海外生産の拡大も視野に入れ、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案する。

【授業計画】

- I. ガイダンス (1)
 - ① 生産に関する基礎知識
- II. 生産担当者の位置づけ (2)
 - ① アパレルメーカーにおける業務の全体像
 - ② 生産担当者の業務領域
- III. 生産実務の概要 (2)
 - ① 管理業務の概要、PDCA の考え方
 - ② アパレル生産の設計・製造過程
 - ③ 生産実務の作業手順
- IV. 生産前準備 (4)
 - ① 製造原価の構造、損益分岐点構造
 - ② 生産計画、IE 手法 (稼働分析、工程分析、動作時間研究・標準時間)
 - ③ 材料調達
- V. 生産実行 (2)
 - ① 工場の縫製ラインの具体的な生産方式・設計内容、工場レイアウト、工場の手配
 - ② 工賃設定
 - ② 納期管理
- VI. 生産の後処理 (1)
 - ① 多品種少量生産での課題と、アイテム・ロットに応じた生産システム
 - ② 増・減産処理
- VII. 入荷検査 (1)
- VIII. 海外生産の基礎知識 (1)
 - ① アパレル貿易とは
 - ② 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状
- IX. 今後の生産管理 (1)

【評価方法】

S~C・F 評価 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルメーカー生産担当者と、縫製工場管理者の職域について学ぶ。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科	単位	1 単位
科目コード	科目名	マテリアル論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田村亜由美

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1, 2年で習得したアパレル素材論の復讐を兼ね、制作物で扱う材料をメインに各繊維性能、糸、織編、染色加工及び用語について生産の観点から理解させる。基礎的な力だけでなく応用力を身につけ、的確な素材表現や実務に役立つ知識を習得させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 概論 ・復習	講義	1コマ
2. シャツ、パンツ素材について	講義・実習	3コマ
3. ジャケット、コート素材について	講義・演習	2コマ
4. 染色、特殊加工及び堅ろう度について	講義・演習	2コマ
5. 機能性、その他素材について	講義	1コマ
6. 商業クリーニングについて	講義	1コマ
7. 物性試験	講義・実習	3コマ
8. 総論	講義	1コマ
	計	14コマ

【評価方法】学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : 講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介 : 文化女子大学(現文化学園大学)卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科3年	単位 2単位
科目コード 980030	科目名 特別講義 III	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 菅井 正子 共同担当者 : 山本 貴代

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業で包括できない部分の関連分野、専門分野の知識習得を目的とする。

実社会の動向、現状、情報、未来への展望や、様々な関わりに対応する為の考え方、アドバイスをファッション業界の講師による講義を聞き知識を習得する。

【授業計画】

1. コンピュータワーク エクセル、操作説明と縫製仕様指図書作成 2コマ 学内講師 飯塚 有葉氏
2. 就職に向けてのデザイン画技法 早描き・彩色等就活に向けてのデザイン画技法 2コマ 非常勤講師 岡本 あづさ氏
3. トレンド解説 '24- '25A/Wトレンド解説 1コマ 学内講師 澤住 倫子氏
4. マーケットリサーチ リサーチの意義、やり方のコツと生かし方 1コマ 学内講師 高橋 優氏
5. パンツについて ドレーピングとパターン展開 2コマ ヤノモデリストオフィス 矢野 弘子氏
6. グレーディング パンツ、ジャケット、ラグラン袖のグレーディング法 2コマ 担任(実習: CAD授業内)
7. ユニフォームについて ユニフォーム業界の現状と概要について 1コマ (株)エムシーアパレル 佐古 かがり氏
8. 特殊ウェア(ジーンズ)業界について 業界の現状と知識・技術 1コマ 株式会社 エドワイン 野口 聰氏
9. OEMの仕事 企業のノウハウとコツ 1コマ 合同会社FAMILIA 吉川 順一郎氏
10. メンズシャツパターンの考え方 メンズとレディースの比較(アイテムごと概要) 1コマ P, M, T 立花 信茂氏
11. 3DCGを活用した業務フロー 2コマ 株式会社オンワード樫山 横山 匠氏
12. スタイリストについて スタイリスト・衣装製作の業務内容とスキル 1コマ 株式会社 Worker holic 野田 晶氏
13. メンズデザイナーからの視点 パタンナー経験を生かした機能美の服への追求について 1コマ Kiryu.co. 1td 高柳 成克氏
14. 毛皮について 毛皮に関する一般常識、毛皮製品の企画・パターン・縫製知識 2コマ 梨本 チエ子氏
15. パターンメーカーの役割 パタンナーの仕事内容と業務範囲 2コマ スターアンドストライプス 中岡 絵美
16. 皮革業界の概要と製品企画・製造について 2コマ 株式会社 丸喜 藤田 晃成氏
17. デザイン発想からの物作り デザイン発想から商品展開のノウハウ、生産について 1コマ TAAKK 森川 拓野氏
18. スポーツウェアの商品企画 商品企画から生産について 1コマ デザインオフィスラッシュ 羽田 武幸氏
19. SDGsの取り組み 1コマ パタゴニアインターナショナル・インク
20. アパレルのリアルな生産現場 (株)エムシーアパレル 1コマ 倉岡 隆至氏
21. トレンド解説 '25S/Sトレンド解説 1コマ 学内講師 澤住 倫子氏

計 29コマ

【評価方法】

履修認定(P表示)/評価基準: 出欠席

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント、参考標本

授業の特徴と担当教員紹介

レギュラー授業で包括できない部分の関連分野、専門分野の知識習得を目的とするため各分野のスペシャリスト直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 菅井 正子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科3年	単位 (1単位)
科目コード	科目名 コラボレーション c	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 菅井 正子 共同担当者 : 山本 貴代

【授業概要、到達目標・レベル設定】

外部企業、団体等とのコラボレーションにより社会人としてのキャリアアップを図る。

知識、技術、プレゼンテーション力、マナーの向上につなげる。

ボランティア精神を養う。

成果を発表する。

【授業計画】

教育効果の上がるコラボレーションに参加する。(自由参加)

【評価方法】

履修認定(P表示)/評価基準: 出欠席 100%

主要教材図書

なし

参考図書 なし

その他資料 参考標本

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 菅井 正子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科 3年	単位 4単位
科目コード	科目名 卒業研究・創作	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 菅井 正子 共同担当者 : 山本 貴代

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年間で学んだ理論と技術の集大成としての作品を研究創作させる
実物製作を通して研究する力を養い、卒業制作ショーで発表する

【授業計画】

卒業制作【実物製作】講義・示範・実習 60コマ

- 既習の理論と技術(ドレーピング、パターンメーキング、縫製法)を駆使し、卒業年次として集大成となる作品を研究・創作
- 企画、演出、照明、音効、舞台、会場等の役割を分担し、卒業制作ショーに構成して発表

デザイン 各自発想のデザイン(アパレル技術科に相応しい)でアイテムは自由

素材 自由とするが、卒業制作として相応しい布地

縫製 各自のデザイン、布地に合わせた縫製法

レポート 3年間の集大成として、研究的にまとめる

部分縫い ベルベット部分縫い・リバーシブル部分縫い

※各自のデザインで1体以上を実物製作し、レポートを書く

【評価方法】

S~C・F評価/学業評価 80% / 授業姿勢 20%

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント、参考標本

授業の特徴と担当教員紹介

平面裁断・立体裁断によるパターンメーキングや工業パターンメーキング理論を理解し、各種素材、各種アイテムに対応できる技術を身につける。

服飾造形専任教員 ファッション教育振興協会パターンメーキング検定委員 東京都技能検定(婦人子供服製造/婦人子供既製服縫製) 中央技能検定委員・検定委員(菅井) 文化服装学院研究企画委員会委員長(山本)

記載者氏名 菅井 正子